

「母の信仰告白とほおずき」(2017. 11. 19)

私の母は現在89歳である。秋田市の施設で毎日、行き届いた介護を受けながら、健やかに寂しい思いをすることなく過ごしている。先日、面会に行った時、入り口の受付カードに記入していたら、奥のほうから聞き覚えのある笑い声が聞こえてきた。耳を澄まして聞くと母の声である。耳が遠いため、人一倍大きな声で話し、笑うので、受付の女性にご迷惑をおかけします、と言うと、施設のムードメーカーですと言っただき、嬉しかった。



一方、父はすでに召され、もう8年になるだろうか。私が神学生の4年生の夏、夏季伝道実習で軽井沢にいる時だった。急遽、帰省し、父は受洗していなかったが、何回か導いていた教会で葬儀を行っていただいた。牧師となってまず両親に洗礼を授けたいと願っていたが叶わなかった。父が母のことを心配していて、長男の私に機会あるごとに、面倒見てくれ、と頼んでいた。そんなこともあり、なんとか母を受洗に導きたいと祈っていた。

2年前のある時、母に尋ねた。これまで悪いことしたことがあるか？頑なだった母なのに意外にも素直に、ある、ある、いっぱいある、と言った。私は、良いこともしたべ、と聞くと、うん、とサラリと答えた。ここがイエス様のことを話すチャンスと思い、こう告げた。イエス様は十字架にかかり、ばあさん(母のこと)のした悪いことの全部の罰を受けてくれたんだよ。だから、イエス様を信じればこれまでした悪いことは全部チャラになって、神様からいいことばかりした人間と見做されて天国に行くことができるんだ。イエス様を信じる？母は、うん、と素直に答えてくれた。そして、話を続けた。イエス様を信じれば天国に行くけれども、生きているうちに必ず天国に行ける切符があれば安心するよね。母はうなずく。私は、それが洗礼というものなんだ。ほら、俺が高校2年生の時、川でズボッと沈められた式だよ。今は頭に水を垂らすだけだけど。洗礼、受けたい？うん。嬉しかった。認知症も入っているのが今年も確認したが、また忘れるかもしれない。でも、私の耳には母の返事は間違いなく信仰告白である。

横手教会に転任し、事情を長老会に理解していただき、10月29日に洗礼式を執り行う手はずになっていたが、咳と熱のために施設から外出の許可が下りなかった。残念であった。母の洗礼を覚えてこの日の礼拝に出席された方、また綺麗な花で飾ってくれた方、皆様に感謝するとともに、来春その時が来るようお祈り願いたい。後日、上掲の写真を持って行ったら、とても喜び、特にほおずきに感動していた。何よりも花の好きな母で、背中を丸めて朝から晩まで花壇の世話をしていた姿が思い出された。